

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）事後評価書

令和元年8月30日

計画の名称	新庄盆地における神室(山)の水再生計画									
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)			交付対象	新庄市					
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	①公共下水道の処理人口普及率を49.4%（H27）から53.3%（H29）に増加させる。 ②公共下水道整備区域内の水洗化率を81.5%（H27）から82.8%（H29）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)	
①公共下水道処理人口普及率 整備人口(人)／行政人口(人)							49%	—	53%	
②公共下水道水洗化率 水洗化人口(人)／整備人口(人)							82%	—	83%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	611百万円	A	611百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
新庄市事務事業評価（実績評価）により、事業効果を検証し、今後の整備計画を検討した。	平成30年度 公表の方法 市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29			
A07-001	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	汚水	新設	中央1号・3号・4号幹線及び枝線(未普及解消)	φ200～350mm L=1.0km	新庄市					173	
A07-002	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	汚水	新設	南部1号・1-2号・2号幹線及び枝線(未普及解消)	φ200～350mm L=4.8km	新庄市					263	
A07-003	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	汚水	新設	北部1号・4号・5号幹線及び枝線(未普及解消)	φ200～350mm L=6.2km	新庄市					148	
A07-004	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	汚水	—	新庄市生活排水処理施設整備基本計画	新庄市生活排水処理施設整備基本計画敷地業務委託1号	新庄市					6	
A07-005	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	汚水	—	基本的な計画の見直し	調査検討業務	新庄市					21	
												小計(下水道事業)		611		
												合計		611		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29				
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29			
											合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・計画的に整備が進められ、新庄処理区的生活環境の向上と水質保全が保たれた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①公共下水道処理人口普及率	最終目標値	53%	目標値と実績値に差が出た要因	計画策定時に想定していた水洗化人口と実際に水洗化した人数に相違があったため。
		最終実績値	53%		
	指標②公共下水道水洗化率	最終目標値	83%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	80%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項(今後の方針等)					
・今後も引き続き、市内北部・中央部・南部の未整備区域を計画的に整備していきたい。					